

平成28年9月 市議会定例会

子ども・子育て関連議案を可決

平塚市議会は、平成28年8月26日から9月21日まで、7日間の会期で9月定例会を開催しました。今定例会では、市長から29案件の議案が提出され、このうち27年度決算の認定に関する2案件を除く27案件の議案を原案どおり可決、同意しました。

なお、決算の認定に関する審議については、決算特別委員会を設置し、今定例会後の閉会中に継続して審査することとしました。

※議案と審議の結果は8面に掲載しています。

事項を定めています。質疑では、基金の運用などについて問われ、採決では、全会一致で可決しました。

放課後児童クラブ条例を一部改正

市内4か所の小学校敷地内などに専用施設を設置している放課後児童クラブは、指定管理者に管理・運営を行わせるものとしていますが、そのうち3か所は、保護者が指定管理者となっています。保護者会による運営では、民間のノウハウを活用した運営を実施することは難しく、指定管理者制度による手続きなどにおいても多大な負担が生じている現状があります。

このことから、保護者会が運営主体の場合には、市長が管理し、委託事業による

子ども・子育て基金条例を制定

子ども・子育てに関する施策の充実及び安定を図るための財源を確保することを目的として、平塚市子ども・子育て基金が設置されます。条例では、基金の原資の積み立て、管理、処分など、基金の運用に必要な

る運営ができるようになります。また、入所資格の見直しが行われます。採決では、全会一致で可決しました。

幼保連携型認定こども園設置条例を制定

本市に初めて公立の幼保連携型認定こども園として平塚市港こども園が設置されます。認定こども園は、教育・保育を一体的に行う施設で、幼稚園と保育所の両方の良さを併せ持つ施設です。就学前の教育・保育ニーズに対応する新たな選択肢となります。採決では、全会一致で可決しました。



外観イメージ図

職員の給与に関する条例を一部改正

職員給与の削減などが行われます。厳しい財政状況の中、職員自らが痛みを伴う給与削減を実施することにより、率先して健全な財政運営が進められます。この職員給与の削減により生み出した財源については、子ども・子育て基金への積み立てや、災害時避難者用ペットボトル飲料水のほか、発災時や通電時の建物火災を防止する感震ブレーカー、倒壊家屋などの下敷きとなった要救助者を迅速に救出するための地中音響探知機の購入費用に充てられます。

教育長の任命に同意

9月30日をもって金子教育長の任期が満了となるため新たな教育委員会制度の下、後任に、吉野雅裕氏を任命する議案に同意しました。

人事案件に同意

任期満了を迎える教育委員会委員の任命と固定資産評価審査委員会委員の選任並びに人権擁護委員の推薦について、各氏とも全員異議なく同意しました。

農業委員会制度の改革に伴い条例を制定

農業委員会等に関する法律の一部改正に伴い、農業委員の選出方法や定数が変わるため関係する条例が整備されました。農業委員は、公選制と選任制の併用から市長の選任制に変更となります。また、担い手への農

●人権擁護委員 武井定光氏(再任・下吉沢)

平成28年度予算を補正 一般会計総額827億8,341万円に

一般会計では、国県支出金の内定及び指定寄附金に伴うもののほか、当初予算で措置できなかった経費、不足が見込まれる経費など5億172万円の増額となる補正予算を可決しました。

この結果、一般会計の予算総額は827億8,341万円となりました。

一般会計補正予算の一部を紹介

- コンビニエンスストアでの証明発行準備や個人番号制度への対応に関するシステム改修などの経費5,001万円
- 災害時避難者用ペットボトル飲料水、災害用簡易組立洋式トイレなどの購入経費3,577万円
- 民間保育所などへの保育業務支援システム導入や事故防止カメラの設置に対する助成経費2,710万円
- 平塚競技場のバックスタンドの観客席増設に関する経費7,037万円
- 児童数の増加に伴うみずほ小学校校舎増築に関する経費3,472万円

主な内容

総括質問	2~7面
清風クラブ	2・3
片倉章博 野崎審也 須藤量久 黒部栄三	
公明ひらつか	4
鈴木晴男 小笠原千恵美 永田美典	
湘南フォーラム	5
小泉春雄 山原栄一	
平塚創生会	6
金子修一 吉野和美	
日本共産党平塚市議会議員団	6・7
渡辺敏光 高山和義	
無所属	7
江口友子 端 文昭	
常任委員会の審査概要	3・5面
議案審議の結果	8面



児童の考えた献立がプロバスケットボールチーム「横浜ビー・コルセアーズ」の応援給食に
—富士見小学校に選手を招いてふれあい給食